

スラストベアリングを 主力に優位性握る

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワンの技術
- メイドインジャパン
- 試作可 小ロット
- 量産対応



「MRK」ブランドで高い認知度を誇るスラストベアリング（中央）

業務内容 スラストベアリングと 精密研磨・部品が主力

ベアリング（軸受）の製造・販売と精密研磨の受託加工を手がけている。ベアリングでは特に、垂直方向の荷重のみ受ける高剛性タイプのスラストベアリングが主力。全方向から受ける一般のベアリングに比べニッチ市場だが、鉄道車両の座席回転部、天井に設置する扇風機など、垂直方向に大きな負荷がかかる装置に適する。

ほかにもクラッチリリースベアリング、ベルトテンションナー・アイドラーボールベアリングなど、自動車修理用のアフター市場向けも製品化している。売上高の約70%をベアリングで、30%を研磨加工・部品で占める。

強み 「MRK」ブランドで高い認知度、 大手にもOEM供給

スラストベアリングは創業からの主力製品で大手ベアリングメーカーもあまり手がけていないため、「小西製作所」の「MRK」ブランドは認知度が高い。大手ベアリングメーカーには、OEM（相手先ブランド生産）供給も行っている。ニッチだが産業用、民生用とも需要があり、他社と差別化できている。

スラストベアリングの製造で培ってきた中核技術が、マイクロメートル単位の高精度な精密研磨。この技術を生かし、空調機や農業機械用エンジン、自動車エンジンの海外アフター市場向けなどの研磨部品事業も、経営の第2の柱として確立している。

海外展開 グローバルビジネスの拠点、 新たな市場と顧客を開拓

顧客メーカーの海外生産移管やコスト

ダウン要求の高まりを受けて、平成18年にベトナム・フンエン省に工場を建設した。シンガポールの日系冷蔵庫工場向けにスラストベアリングや、日本の家電メーカー向けに部品などを現地生産して、売上高を一貫して伸ばしている。

平成27年には、敷地内に第2工場棟も新設した。ベトナム工場からは、日系企業が多く進出するタイにも輸出している。ベトナムに進出したことから、新たな取引につなげたビジネスも多く、グローバルの拠点となっている。

今後の展望 チタン・セラミックス製を 研究、技能伝承にも意欲

ベアリングの国内市場は成熟しているが、技術の高度化で需要創出を図ろうとしている。従来のスチール製以外に、チタン製やセラミックス製のスラストベアリングの開発に取り組んでいる。チタンは軽量で、セラミックスは耐高熱性に優れ、高機能な材質のニーズを掘り起こす。小西克治社長は「開発にチャレンジしたい」と意欲を示す。ベアリング以外にも、新たなブランドの機械部品を開発しようと試みている。

精密研磨では技能の要素が強いため、技能伝承が課題。若い人材を絶えず採用し、研磨メーカーによる講習も積極的に受けている。



ベアリング外輪の外径研磨工程



世代がバランス良くそろった社員

当社の歴史



初代社長の小西市三が、勤めていたベアリング工場から独立・起業したことから、始まりました。他社が目を付けていなかった時代からスラストベアリングを主力製品とし、品質・価格・納期の優位性は今も変わりません。「ユーザーの需要は進歩の指導者である」をモットーに、日々活動しています。

代表取締役社長 小西 克治さん

<http://www.mrk-konishi.co.jp/>

ISO 9001
ISO 14001

主な事業内容

各種ベアリングの製造・販売、精密研磨加工品の製造・販売

主な取引先(納入先)

ベアリングメーカー、自動車部品メーカー、家電メーカー

- 住所 〒592-8341 堺市西区浜寺 船尾町東2-122
- TEL 072-267-0888
- FAX 072-267-0885
- 創業 昭和9年10月
- 設立 昭和32年6月
- 資本金 3,000万円
- 従業員 127名